

蓄電池ビジネス事業計画作成のスキルが身に付く！

導入編

# 系統用蓄電池ビジネスセミナー 「最大利益のための5つの法則」



村谷 敬氏

(株) AnPrenergy  
代表取締役



大串 卓矢

(株) スマートエナジー  
代表取締役社長

系統用蓄電池ビジネスへの注目は年々高まっています。電力ビジネスに精通する大手企業は十分な勝算を持って参入する一方、それ以外の事業者は暗中模索の域を出ません。また、金融機関も系統用蓄電池ビジネスの事業計画を細部まで把握することが困難です。系統用蓄電池ビジネスの費用項目、収益項目を整理した上で、最も利益が出るイメージで事業計画を作ることができれば、金融機関にも説明しやすく、なにより自信を深めて事業を遂行することができることでしょう。そこで、系統用蓄電池ビジネスの収益構造と利益の上げ方について学び、最終的に事業計画の作成、ダブルチェックまで行う5回の講座を開催します。

こんな方に  
オススメ

- 蓄電池ビジネスに興味がある方
- 蓄電池ビジネスへの参入を検討している方、すでに参入し始めている方
- 蓄電池ビジネスへの出資、融資を検討している方

日時

2024年3月27日（水）

15:00～17:00

17:00～懇親会

※リアル参加の方のみ

(受付 14:30～)

場所

航空会館ビジネスフォーラム 501  
東京都港区新橋 1-18-1 航空会館5F

地図：<https://maps.app.goo.gl/gJ736Rc4kozrE26p8>

アクセス

- 都営三田線「内幸町駅」A2出口 徒歩30秒
- JR「新橋駅」日比谷口 徒歩5分
- 東京メトロ「新橋駅」⑦出口 徒歩5分

定員

50名

料金

リアル：27,000円（税込・懇親会費込み）

オンライン：22,000円（税込）※1名様あたり

セミナー内容

2024年5月  
第1の法則

2024年7月  
第2の法則

2024年9月  
第3の法則

2024年11月  
第4の法則

2025年1月  
第5の法則

本イベントは、2024年5月以降に開催する系統用蓄電池ビジネスセミナーの導入編となります。

前半はセミナーのダイジェスト版、後半は講師や参加者同士、意見交換いただける懇親会を実施します。

※懇親会には、蓄電池ベンダー、メンテナンス会社、保険会社、金融機関等の方々のご参加も予定しております。

イベント参加者には  
5月以降のセミナー  
優先枠をご用意

お申し込み

<スマートフォンの方>

参加フォーム：

<https://forms.gle/YsHniqA3FPmaiTJY6>



お問い合わせ

(株) スマートエナジー 蓄電池セミナー事務局  
chikudenchi\_seminar@smart-energy.jp

## <本イベント以降のセミナースケジュール（予定）>

- ①2024年 5月： 系統用蓄電池ビジネス 最大利益の第1法則「最適候補地の条件」
- ②2024年 7月： 系統用蓄電池ビジネス 最大利益の第2法則「最良ベンダーの条件」
- ③2024年 9月： 系統用蓄電池ビジネス 最大利益の第3法則「最高運用メンバーの条件」
- ④2024年 11月： 系統用蓄電池ビジネス 最大利益の第4法則「最大利益オペレーションの条件」
- ⑤2025年 1月： 系統用蓄電池ビジネス 最大利益の第5法則「事業計画の策定とダブルチェック」

※今年度は系統用蓄電池にフォーカスしてスタートしますが、来年度以降はより広く蓄電池の学びの場の提供を検討しております。

## <講師プロフィール>



### 村谷 敬 氏 （株）AnPreenergy 代表取締役

電力ビジネスが黎明期だった2009年から新電力支援サービスを手がけるエナリスやエプコで電源調達や需給管理を担当し、電力全面自由化を迎えた2016年に独立。電力市場の価格形成に関する専門的な見地から、電力ビジネス全般のコンサルティングを手がけ新電力100社以上を支援。現在では、系統用蓄電池ビジネスを担う幹部育成、需給調整市場のトレーナー育成を手掛ける。事業構想大学院大学非常勤講師。主な著書に「エネルギーの未来 2020-2029」（日経BP）、「5日でわかる系統用蓄電池ビジネス（動画教材）」がある。



### 大串 卓矢（株）スマートエナジー 代表取締役社長

大学にて環境学を専攻、公認会計士資格を取得し、PwCに入所。排出権取引関連事業を立ち上げ、PwC気候変動チームリーダーを務める。2007年株式会社スマートエナジーを設立。経済産業省国内Jクレジット制度発起委員会事務局長、公認会計士協会排出量取引専門部会長を歴任するなど、CO2クレジット制度（温室効果ガスの排出削減量や吸収量を「クレジット」として国が認証する制度）の立ち上げに寄与した。気候変動問題の解決に技術・金融・ITの知力を使い、ビジネスで解決する手法を探求している。

## <主催団体>

### 蓄電池ビジネスの普及を考える会（仮称）

国内電力の最適運用を願い、健全なエネルギービジネスの発展、蓄電池の普及を目指す皆さまと共に学び成長することを目的とした団体として、太陽光発電所のO&M事業で国内最大手の株式会社スマートエナジーとエネルギーコンサルタント村谷敬氏が代表を務める株式会社AnPreenergyが発起人として立ち上がりました。



協力：一般社団法人エネルギー情報センター 新電力ネット運営事務局